

# 古川なおきレポート



横浜市議員

## 古川 34才 なおき



▲中田市長と横浜市の未来について徹底的に議論しました。



### 民間の経営感覚を役所へ!



二十六歳の時、多くのボランティアの方や母校希望ヶ丘高校出身の大学生たちの応援を受けて当選させていただいた選挙を今でも思い出します。前任の議員の後援会を引き継ぐこともなく、特別な業界や団体にご支援いただくこともなく戦った選挙でした。

「政治に信頼を取り戻したい」「民間の経営感覚を役所へ!」この思いをずっと持ちつづけ暑い日も寒い日も朝の駅頭で市政報告させていただきボランティアの学生といっしょに今日まで活動してまいりました。

さて、間もなく二期目の任期が終了しますが、この間、FIFA2002ワールドカップを始め様々なことがありましたが、中田市長の誕生が私にとって一番印象的な出来事で、中田市長と仕事をした一年間が一番充実した一年となりました。

中田市長には業務改革や市民サービスの向上、環境対策につながる具体的な四つの政策を独自に提案させていただきました、実現いたしました。

一、市政問い合わせセンター(コールセンターの設置)  
二、ネーミングライツ(施設命名権)  
三、公務員の名刺の公費化  
四、ISO14001の認証取得

どれも横浜市の根本的な仕組みを改革する重要な政策だと自負しています。

ればならないと考えます。厳しい財政状況の中にあっても「行政業務の徹底した効率化」を図り、無駄な税金を無くし、二つの高い介護や医療、保育や教育、環境保全などに予算を多く配分していくことが重要です。

市(コールセンター)は、民間の取り組みとアメリカの政策にヒントを得て提案した政策ですが、市民からの問い合わせに對し、たらい回しが無いように素早く対応することが可能になります。また、市内十八区役所の代表電話を一本化し、オペレーターをアウトソーシング(外部委託)することによって業務の効率化が実現できます。

さらに、集中して市民の問い合わせを受けるので市民ニーズに市民の声を次の政策に反映することが出来ます。

ネーミングライツ(施設命名権)は、ワールドカップ決勝戦会場である横浜国際総合競技場の運営管理費に市税が年間六億四千万円繰り出されている現状を改善するために、市が企業に競技場へ名前を付ける権利を与える代わりに、企業から広告収入を得たいこととする政策です。(詳細は二面の一月二十一日付の産経新聞に掲載)

公務員の名刺の公費化では、福祉や道路など市民の皆さまからの要望に對し、担当の職員が名前を名乗らなかつたり、名刺を渡さないことが多いことからヒントを得ました。職員に「名刺を渡してしっかりと対応してほしい」と提案すると、名刺は職員の自己負担になっていくとのことでした。私は名刺を公費で負担するかわりに、「何かありましたら私にお申し付けください」と名刺を渡して仕事に責任を持っていただくことがサービス業として当たり前だと思えます。市民の皆さまと接する機会が多い一般職員にはまだ適用されていないので予算委員会一般職員も名刺を公費化して支給するよう要望したいと思えます。

ISO14001の認証取得では、環境に対する意識啓発を市が積極的に進めよう提案し、取得に向けて動き出しました。

最後に、政治改革の思いを書かせていただきます。市議員という仕事は、地元の道路や公園の整備や福祉などの相談を受けることも多いのですが、私は先進的な政策を提案することも大切な仕事だと思っています。「あの道路は私が整備した、あの施設は私が...」と競うように主張することもありますが、行政がサービス業としてしっかりと仕事をしたいれば地域の方々の個人的、感情的な陳情はなくなり、市議員は政策を提案したり、約三兆円の予算をチェックする会計管理をもっと積極的に進めることが

「政治に信頼を取り戻したい」「民間の経営感覚を役所へ!」この思いをずっと持ちつづけ暑い日も寒い日も朝の駅頭で市政報告させていただきボランティアの学生といっしょに今日まで活動してまいりました。

「政治に信頼を取り戻したい」「民間の経営感覚を役所へ!」この思いをずっと持ちつづけ暑い日も寒い日も朝の駅頭で市政報告させていただきボランティアの学生といっしょに今日まで活動してまいりました。

### 中田宏市長と 横浜市の経営改革!



既成概念にとらわれず、同世代の中田市長と横浜市を改革します。古い政治体質にこだわってはいけません。次世代を担う子どもたちのためにも未来に夢と希望がもてる横浜を創っていききたい。行動力ある若い市長と議員で横浜発の新しい風を起こします!

「横浜市を改革する中田市長とともに」「古川なおきの挑戦に期待してください!」

### 古川なおきプロフィール

- 昭和43年 8月31日横浜生まれ、34歳。旭区中希望が丘在住。
- 昭和62年 県立希望ヶ丘高校を卒業(K39期)在学中、サッカー部、生徒会で活動。
- 平成4年 明治大学政治経済学部を卒業。在学中、雄弁部や行政学ゼミナールで活動。雄弁部の先輩である三木武夫首相の信念「政治倫理の確立」に感銘を受ける。(株)横浜銀行入行。
- 平成7年 議員秘書を経て、横浜市議員選挙に旭区より挑戦。多くの学生ボランティアに支えられ、26才最年少当選。
- 平成11年 横浜市議員選挙2期目の当選。(まだまだ最年少)
- 現在 議会では大学教育委員会(副委員長)で活動中。地元では鶴ヶ峰商店街協同組合顧問、旭区サッカー協会顧問、桜蔭会(希望ヶ丘高校同窓会)評議員、(社)横浜青年会議所、(社)日本動物福祉協会横浜支部支部長、旭区スポーツダンス協会顧問、明治大学校友会評議員。
- 好きなスポーツ選手: 中田英寿、イチロー
- 好きなアーティスト: サザンオールスターズ カシオペア
- 趣味: サッカー(希望ヶ丘FC所属)・卓球(本間クラブ所属) スポーツ観戦・読書
- 特技: 結婚式の司会 サッカーのリフティング
- 著書: 「全国若手議員からのメッセージ」(共著)

# 次世代にツケをまわさない持続可能な横浜を目指して

## 政策目標

- ・ 保育所と特別養護老人ホームの整備で待機者をゼロに
- ・ 小児救急医療や保育時間の延長など子育て支援の充実
- ・ 電子市役所の実現で\*ワンストップサービスの実現
- ・ 学区の自由化や校長の民間人採用で教育力の向上 ・ 不登校対策の拡充
- ・ 小学校からの英会話教育 ・ 民間委託で中学校給食の実施
- ・ 横浜型環境特区の実現や屋上緑化、校庭の芝生化で、緑を創造し保全
- ・ 徹底したゴミの分別収集でリサイクルの推進
- ・ 環境行動都市として\*ISO14001の認証取得 ・ 不法投棄と放置自動車対策
- ・ 野球やサッカーなど各種スポーツ施設の整備
- ・ 商店街の活性化と創業ベンチャー支援で、市内経済に活力を

**少子高齢社会の中で350万人市民の様々な行政ニーズに対応しなければなりません**

どうして財源は？

## 問題点

- ・ 横浜市 of 借金総額 **6兆2000億円**  
(外郭団体を含む)  
(市民1人あたりの借金の額は**177万円**)
  - ・ 市税収入(住民税と固定資産税等)は前年度比 **3.3% 減少**
- 長引く景気の低迷で税収増加は見込まれず、市債の残高も6兆円を越え、厳しい財政状況です

## 横浜市役所の経営改革！

## 解決策

- 民間に任せられる仕事は民間に任せる (業務のアウトソーシング)
- コスト意識を徹底して一切の税金の無駄を省く
- 民間の経営改革手法(\*ABCなど)を導入し、業務を効率化する
- 中期財政ビジョンを確立し、財政の健全化
- ネーミングライツ(施設命名権)やバスのラッピングで広告収入UP!
- 行政評価を導入し、顧客志向や成果主義を予算に反映
- NPO法人やボランティアとの協働
- 市政問い合わせセンター(コールセンター)の実施で業務の効率化と市民サービスの向上

**古川なおきは民間の経営感覚を役所に導入し、コスト意識を徹底しながら行政サービスを向上させる横浜市役所の経営改革を同世代の中田市長と共に実現します！**

【用語解説】  
 ※ワンストップサービス……複数に分かれている(行政)サービスをひとつに関連づけ、一度の手続、あるいは一ヶ所ですべてのサービスを受けられるようにすること。  
 ※ISO14001……国際標準化機構(ISO、International Organization for Standardization)が発行した環境管理システムの国際規格で、国内ではすでに約9,000の事業者や自治体が登録されています。認証を受けるためには、環境への負荷を削減するための計画を作って実施し点検を行い、認証を受けても毎年外部審査を受けるのがポイントです。  
 ※ABC……活動基準原価計算(Activity Based Costing)、活動(業務の実行)を中心にコスト情報を把握する管理会計のしくみ。

政治に信頼を取り戻すために・・・



▲中田市長へ初質問(神奈川新聞1面に掲載される)



▲市会本会議で市の経営改革を訴える



▲毎月1回開催の学生勉強会「古川なおきスクエア」



▲県立高校で地方政治について講義



▲朝の駅頭市政報告は8年間で500回を超える！

口利き型政治から口利き型政治へ

# 1999 年～2003 年 3 月 (2 期目) 古川なおきの活動と実績

古川なおきは 2 期目の任期の 4 年間で本会議質問 3 回、予算・決算特別委員会質問 16 回。これは、92 名の市議員の中でもトップクラスの質問回数です。これからも皆さまの声をどんどん議会で提案させていただきます！



## 1999 年～2003 年 3 月 [2 期目] の実績

### 【議会】

#### 独自に先進的な政策を提案し実現させた実績

- 市民問い合わせセンター（コールセンター）のモデル実施（市への問い合わせで、たらいまわしをさせません）
- 責任の明確化の観点から、職員名刺の公費化を提案し、実現
- 横浜市の ISO14001 の認証取得を提案
- ネーミングライツ（施設命名権）の導入で、役所も広告収入を確保
- 校庭の芝生化について提案（旭区不動丸小学校でモデル実施）
- 屋上緑化の推進
- 図書館など公共施設の祝日開館を提案し、実現
- たばこの全公共施設分煙について提案

地元町内会の皆さまをはじめ多くの方々相談させていただき、道路整備、福祉政策、商店街活性化、少子化対策、教育問題など皆さまと行政の橋渡しとして活動してきました。

### 【旭区】

#### 地元旭区の街づくりの実績

- ・希望ヶ丘駅 NTT 側踏切における歩行者の安全通行のための道路整備に向けて動く
- ・下川井町の町内会館の建設とカーブミラーの設置
- ・中希望ヶ丘第 5 公園の水道設備の設置
- ・希望ヶ丘地区センターの建て替えについて提案
- ・鶴ヶ峰商店街の歩道の安全識別舗装
- ・金が谷地区、下川井地区の放置自動車の撤去
- ・鶴ヶ峰駅前の点字ブロックの設置
- ・笹野台商店街入口の放置自転車対策
- ・旭区役所お客様の声提案箱の設置
- ・旭区スポーツセンターのランチルームの設置

### 【その他の活動】

- FIFA2002 ワールドカップを成功させる横浜市議員の会として大会の盛り上げをサポート
- 二俣川西友前の犬猫の里親探しを日本動物福祉協会横浜支部長としてサポート
- NPO 法人国際障害者スポーツ写真連絡協議会を顧問としてサポート
- (財) 日本国際交流センターが主催する日米青年政治指導者交流プログラムに自費で参加し米国の州議会や政党の関係者、連邦議会や行政府のスタッフと社会課題に関して意見交換
- 希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会 100 周年記念祝賀会」で司会を務める(笑)



▼2003 年 1 月 21 日 (火) 産経新聞朝刊

「横浜国際総合競技場」の名称取りやめ…

命名権 企業に売却 市、維持費捻出に秘策

「産経新聞朝刊」2003年1月21日

「命名権」とは、施設や土地の名称を一定期間、一定の条件で企業に売却し、その対価を維持費に充てること。横浜市は、この命名権を売却することで、競技場の維持費を捻出する秘策を講じている。市は、命名権の売却をめぐって、企業との交渉を進めている。命名権の売却は、競技場の名称を「横浜国際総合競技場」から「横浜国際総合競技場（株）」に変更する。命名権の売却は、競技場の名称を「横浜国際総合競技場」から「横浜国際総合競技場（株）」に変更する。命名権の売却は、競技場の名称を「横浜国際総合競技場」から「横浜国際総合競技場（株）」に変更する。



▲地域の運動会でごあいさつ



▲夢の競技場で「初ゴール！」



▲米国各州議会議員が事務所に訪問



▲現地現場主義を貫く



▲テレビ神奈川「予算の焦点」に初出演！

## 子供たちの未来のために・・・



▲第 22 回横浜市民マラソンを完走！



▲サッカー少年へ激励のごあいさつ



▲犬ネコの里親探し(毎月第3日曜日)二俣川西友前にて



▲小学校での情報化教育も大切です



▲旭区サッカー協会顧問として表彰式に出席

毎日更新!

# 古川なおきのホームページ、話題沸騰中!



## 携帯からも見れます(iモード・J-スカイ・EZweb 対応) ホームページで紹介ページも開設しました

古川なおきホームページでは、古川なおき本人がその日一日の出来事や感想を書き込む「日刊古川」、月1回発行している「古川なおきレポート」、定期的に発行している「市政目安箱」などのコンテンツがあります。また、一人でも多くの方にこのホームページを見ていただければと思い、お友達ご紹介ページも開設しました。(フォームに必要事項を記入するとお友達に古川のホームページのアドレスが転送されます) ホームページをご覧いただいた感想やこんなページを作ってみてはなどのご提案などがありましたらぜひお知らせください!

古川本人へのメール [naoki@furukawa2002.com](mailto:naoki@furukawa2002.com)  
[www.furukawa2002.com](http://www.furukawa2002.com)

## 毎月古川なおきレポートを発行してきました! 市民の方へ活動報告をするのは議員の責務です



### 市政目安箱で市民の声を集めています

私は毎月駅頭で早朝出勤される皆さまに市政報告をして「月刊 古川なおきレポート」を配布しています。最初のころは「朝からうるさい」とおしかりをいただいたりレポートを受け取られる方も少なかったのですが、最近では多くの方にお読みいただき感想やご意見をいただくようになりました。激励のEメールをいただくこともあり、「継続は力なり」と言う言葉を実感しています。



「古川なおきの市政目安箱」でも多くの皆さまからご意見をいただき、市の政策に反映させていただきました。皆さまの声は私の政策提案の根幹になっています。これからも私の活動や政策を皆さまに朝の駅頭で報告させていただきます。私は選挙があってもなくても続けていきますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 古川なおきの政治姿勢

古川なおきは「口利き政治」から「政策提案型政治」を確立し、朝の駅頭から政治に信頼を取り戻します。

- 8年間続けた朝の駅頭での市政報告。(通算500回以上!)
- 毎月「古川なおきレポート」や「市政目安箱」を発行。
- 学生や主婦の方々と勉強会を開催。
- 政治活動資金をレポートで公開。
- ホームページを活用した情報公開。
- 政治倫理の確立。



一般的に政治家とは、閉鎖的なイメージがあり特別な人種とされているようです。このことが、政治不信や低投票率につながります。私が毎朝駅頭で演説するのは、有権者や若い人たちにもっと政治に関心を持っていただき、政治離れに歯止めをかけたいためです。そして、政治家とは市民の夢や希望を実現する大切な職業であると、小さな子どもたちに誇りを持って伝えたい。これからも、この街で生きていく一人の若者として、私は、朝の駅頭での活動を続けていきたいと思っています。

政治に信頼を取り戻すために...

横浜市議会議員 古川なおき

## 政治活動資金を公開します 2002年古川なおき青春の会収支報告

<b>【収入】</b>	
寄付	3,118,937円
その他の事業収入(催し物の余剰金)	537,439円
<b>収入合計</b>	<b>3,656,376円</b>
<b>【支出】</b>	
事務所費(人件費・光熱費・消耗品など)	2,748,944円
政治活動費(交通費・会議出席費など)	1,763,284円
レポート発行費(印刷・封筒・郵送料など)	3,922,872円
研修会費・書籍代・記録資料費	203,510円
<b>支出合計</b>	<b>8,638,610円</b>

※収入と支出の差額は自己資金で負担しました。 ※事業収入は経費との差額を計上しています。  
 ※古川なおき青春の会は政治団体(資金管理団体)です。

政治家自身が積極的に情報公開を行わなければ、行政に対して情報公開を主張する立場にないと思います。また、市民の皆さまに信頼できる政治を実現するために私は年1回、この古川なおきレポートに資金管理団体の収支を公開しています。

## 思い出の一コマ(26才の初心は忘れない!!)



▲古川なおきスクエア(学生会)の仲間たちと

私は、「一人でも多くの方に古川さんの掲げる政策を知ってもらいたい、市政報告が掲載されているレポートを、読んで頂きたい!」という気持ちで一生懸命に駅頭を走り回っていました。私には朝五時に家を出て市政報告を行なう駅へ向います。駅では毎朝、通勤、通学のために足早に駅頭を通り過ぎていかれる方々が多い中、私には一人でも多くの方に古川さんの掲げる政策を知ってもらいたい、市政報告が掲載されているレポートを、読んで頂きたい!という気持ちで一生懸命に駅頭を走り回っていました。私には朝五時に家を出て市政報告を行なう駅へ向います。駅では毎朝、通勤、通学のために足早に駅頭を通り過ぎていかれる方々が多い中、私には一人でも多くの方に古川さんの掲げる政策を知ってもらいたい、市政報告が掲載されているレポートを、読んで頂きたい!という気持ちで一生懸命に駅頭を走り回っていました。

私は、2001年夏に古川さんのもとで議員インターンシップをさせて頂いてから、古川さんと活動を共にしています。主な活動としては、朝夕の駅頭でのレポート配布、ポスティングなどです。中でも、私自身も思いを込めて取り組んでいるのは駅頭でのレポート配布です。私は朝五時に家を出て市政報告を行なう駅へ向います。駅では毎朝、通勤、通学のために足早に駅頭を通り過ぎていかれる方々が多い中、私には一人でも多くの方に古川さんの掲げる政策を知ってもらいたい、市政報告が掲載されているレポートを、読んで頂きたい!という気持ちで一生懸命に駅頭を走り回っていました。

## 一学生の思い

中央大学総合政策学部政策科学科4年 末廣潤 一さん



発行所 自由民主党  
 TEL: 03-3581-6211(代表)  
 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23  
 自由民主党横浜市連号外版(昭和30年6月16日第三種郵便物認可)